

## 第 15 回バイオマス部会・研究会合同交流会報告

バイオマス変換研究会代表幹事 上高原 浩

2015 年 11 月 13 日（金）に東京大学農学部弥生講堂アネックスに於いて第 15 回バイオマス部会・研究会合同交流会「バイオマス利活用に向けた新展開～バイオ水素・ナノセルロース・リグニン～」が開催されました。

バイオマス合同交流会はバイオマス研究に関係する 6 つの団体が共同で主催することにより毎年開催しており、様々なバックグラウンドを有するバイオマス研究者の交流を目的としております。今年度は（一社）バイオインダストリー協会アルコール・バイオマス研究会が担当し、4 名の講師の先生方による最先端かつ最新の成果をご紹介頂きましたが、79 名が参加する活発な合同交流会となりました。日本木材学会では情報を得る事が少ないバイオ水素に関する話題、日本木材学会の会員ではない先生によるリグニン（芳香核）の触媒還元反応に関する話題を拝聴することが出来ました。更に日本木材学会会員である磯貝先生によるセルロースナノファイバーに関する最新の研究成果をまとめて拝聴することもできました。バイオマスの「酸化・還元」がキーワードであったと言えます。

- (株)ジャパンプルーエナジー・堂脇 直城：食品残渣からのバイオ水素製造法の開発と実証
- サッポロビール (株)・岡田 行夫：食品残渣からのバイオ水素製造法の開発と実証
- 東京大学・野崎 京子：リグニン分解物から有用なベンゼン誘導体への変換を目指して：新触媒開発
- 東京大学・磯貝 明：セルロースナノファイバー開発への取り組み

(敬称略)

来年度は木質バイオマス利用研究会が担当し、講演会を企画する予定となっております。また、当バイオマス変換研究会は 2013 年に開催された合同交流会を企画しておりますが、次回は 2019 年に担当する予定です。

バイオマス変換研究会は、これからも他学会・研究会との学術的な交流を推進しながら、学術講演会を通じて日本木材学会の会員の皆様に情報を還元していきます。学生会員の皆様、あるいは他研究会所属の先生方も含めて多くの皆様の参加をお待ちしております。

<今年度の予定>

平成 28 年 3 月 29 日（火）第 66 回日本木材学会大会（名古屋）最終日、バイオマス変換研究会春季講演会